

エニックス 西部小通信 9月22



ようこそ松田先生

7月に退職された給食調理員の上村先生の後に、9月1日から松田由井（まつだゆい）先生に来ていただいています。これまでも東陽給食センターにお勤めだったそうで、安心してお任せできています。初めての単独調理校勤務ということで緊張すると言われておりましたが、身近に接することのできるよさを味わっていただければと思いますので、早く子どもたちの顔と名前を覚えていただけるようしっかり挨拶をさせたいと思います。どうぞよろしく。

命の授業



9月1日は、18歳以下の自殺者が1年でいちばん多い日です。ちなみにその前後の日も大変多いのです。今年はいつもより早く始まったので、この『9月1日』に普通に授業ができるということで、4年担任の入家教諭が「2学期が始まる日にいちばん多いのはなぜか。」ということを考えてほしくて道徳で取り組みました。校長もゲストティーチャーで参加しました。子どもたちはそれぞれに命の大切さをつかんだようでした。



運動会応援団結団式

7日（水）2校時後、体育館で行いました。最初に児童会から『復興～感謝の気持ちをもってがまだせ鏡西部～』という本年度のテーマと設定理由が発表され、その後紅白に分かれ、応援団の顔合わせがありました。

校訓の一つ『協力』、力を合わせて成し遂げることの尊さを味わうための最大の行事です。「対抗する相手とも協力するにはどうすればいいか？」まで考えさせることができればと思っています。



ウェルカム!! ジョシュア先生



9日（金）、ALT（外国語指導助手）のジョシュア・アンダーソン先生（Mr. Joshua Anderson）をお迎えしました。アメリカのシカゴから来られました。学生時代に日本（滋賀）への留学の経験があるそうで、子どもたちにも勧められました。将来、グローバルな人材になれるよう、積極的に話しかけて、いろいろ学んでほしいと思っています。

